

## 日本赤十字社の本年3月以降の支援状況と今後の支援予定

### 1. 3月以降の支援状況

内閣府原子力災害対策本部の要請で、福島県内の4中継基地の内のひとつを日赤が担当して昨年5月から実施した、福島県警戒区域への一時帰宅者の救護活動は、3月末をもって終了しました。

実施期間約10か月で87救護班、620人を派遣し、総計486名の方の診療を行いました。なお、本年3月ひと月では9名に止まりました。

また、宮城県沿岸部の医療インフラの復興・整備の支援や仮設住宅の方々の心理面での支援(こころのケア)活動を赤十字ボランティアの協力のもと、実施しました。

### 2. 今後の支援予定

本年度においては、医療救護活動を含めた日赤全体の活動の総括を実施し、課題の抽出と解決方策の策定、体制の強化を図ることとしています。